

第3回地域部活動検討委員会

地域部活動推進事業 最終報告



滑川市

実施概要

i 運営団体、実施主体

- ・運営団体:滑川市教育委員会
- ・実施主体:各競技協会、協会が認める指導者

ii 実証事業校・競技等

競技	対象校等		主な活動場所	参加者	指導者	活動頻度
バドミントン	滑川中	男女	両中学校体育館	56	6	週1 (休業日)
	早月中	女子				
バスケットボール	滑川中	男女	両中学校体育館	70	21	
	早月中	男女				
軟式野球	滑川中	男子	滑川中学校グラウンド	9	4	
ソフトボール	滑川中	女子	滑川中学校グラウンド	14	2	
陸上競技	早月中	男女	スポーツ・健康の森公園	25	2	



iii 活動に係る方針等

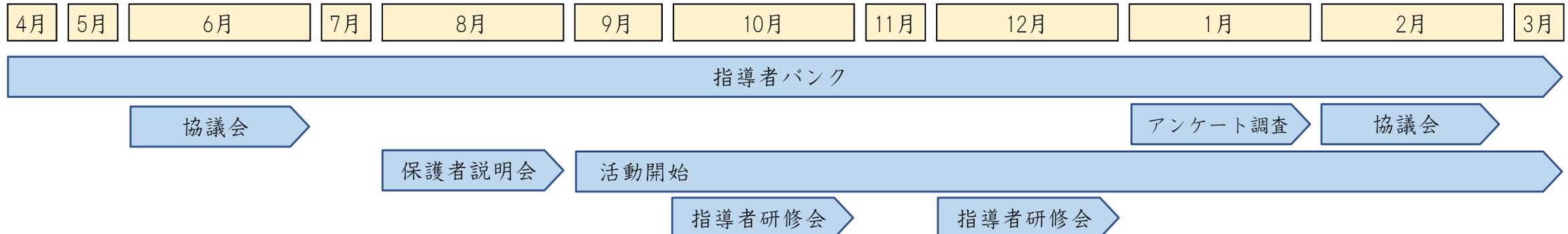
・滑川市地域部活動指導者心得



・滑川市地域部活動緊急時対応マニュアル



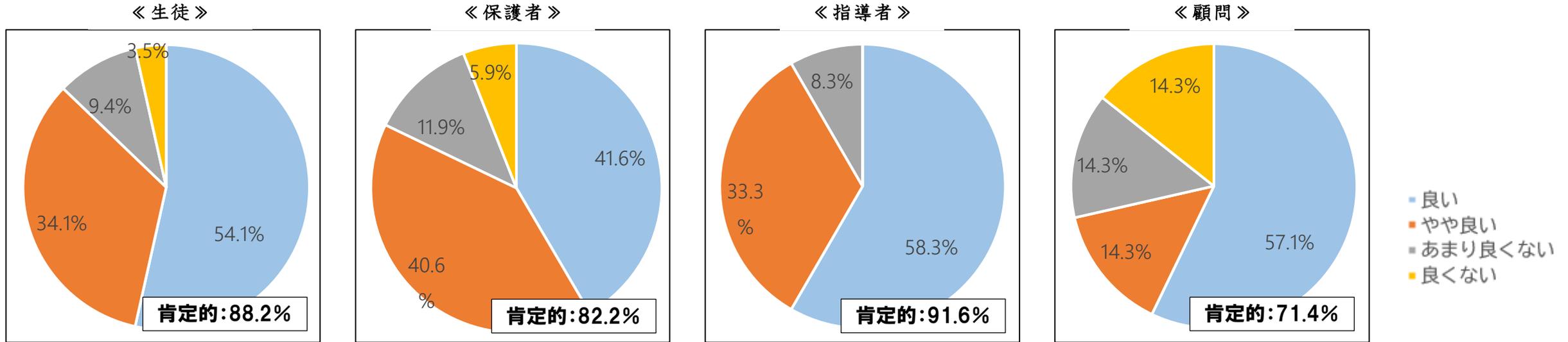
iv 主なスケジュール



成果

成果① 今年度の取組の満足度

回答率 生徒:49.4%(86/174)、保護者:58.0%(101/174)、指導者:52.2%(12/23)、顧問:58.3%(7/12)



《アンケート調査より(抜粋)》

生徒：楽しく取り組めた (69.4%)
体力・競技力が向上した (52.9%)
専門的な指導を受けることができた (43.5%)

保護者：他校との練習試合等、交流が活発に行われた。
様々な方とのつながりが子の成長につながる。

指導者：先生の負担を分散、軽減できる。
地域一体となって子どもたちを支え、育てられる。

顧問：空いた時間を家族や自己研鑽にあてることができた。
専門的な指導を受けられ、生徒の成長に効果がある。

成果② 指導者の質・量の確保・保障に向けた体制整備

i 指導者バンクの設置 ※スポーツエキスパート、部活動指導員、地域部活動指導者(競技協会員、学生・OB・OG等)

- ・登録者46名(競技協会員等:40名、専門学生:6名)

ii 指導者研修会の開催

- ・救命講習(消防署)



《アンケート調査より(抜粋)》

- ・日頃から訓練しておくことが大切であると改めて感じた。
- ・継続して取り組めるよう、来年度以降も実施してほしい。

- ・スポーツ理論「発育発達期に応じたスポーツ指導の考え方」(地元の専門学校)



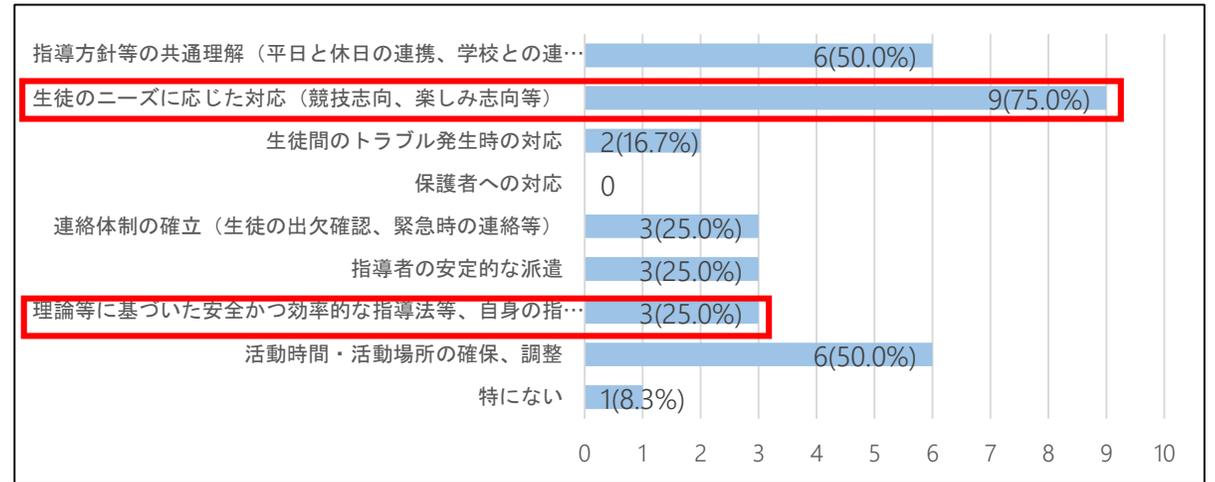
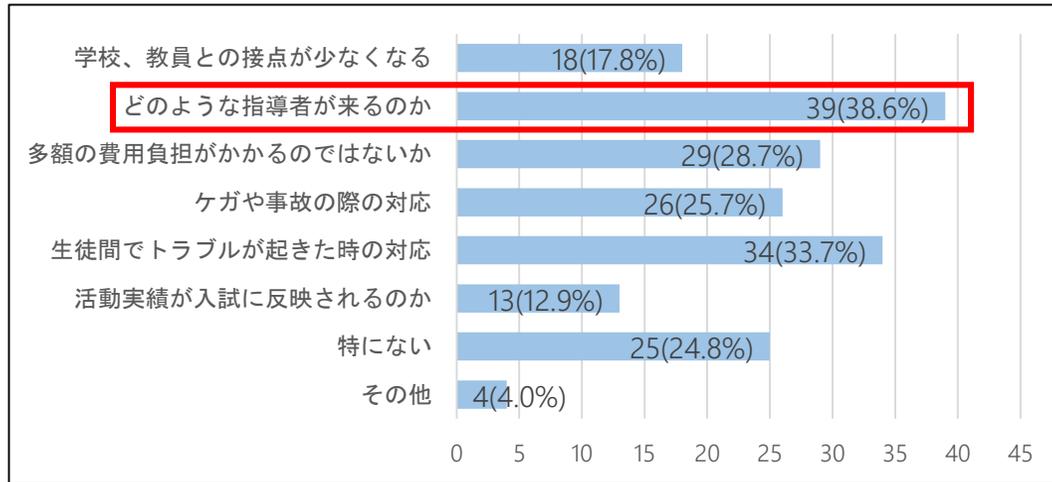
《アンケート調査より(抜粋)》

- ・発育発達の段階に応じた身につけるべきスキルを学び、将来も見据えた土台づくりができるような指導を心掛けたい。
- ・中学生年代の発育発達について学び、必要な配慮や声掛けの方法等を考えて今後の指導を行いたい。

成果③ 安心・安全な活動環境等の整備

i 指導者研修会の開催

アンケート調査より「課題・不安に感じていること」



ii 連絡ツールの活用による効率的かつ迅速な連絡体制の確立

- ・連絡ツールを使用することで出欠連絡・確認が簡単に行うことができた。(保護者、指導者)
- ・連絡ツールを使用して保護者を絡めた連絡が随時されており、安心して任せることができた。(保護者)
- ・子どもが活動場所に来ていない時に、すぐに指導者から連絡を受け、状況を確認しながら対応することができた。(保護者)

成果④ 教員の働き方改革の促進

i 休日の勤務時間の削減(中体連主催行事等を除く)

活動開始:平均16.5時間/月 ⇒ 活動開始後:0時間

ii 余暇、ワーク・ライフ・バランスの充実

《アンケート調査より(抜粋)》

- ・ 空いた時間を家族や自己研鑽にあてることができた。
- ・ 休日に体を休めることができた。

課題とその解決に向けて

課題① 安定的な財源の確保

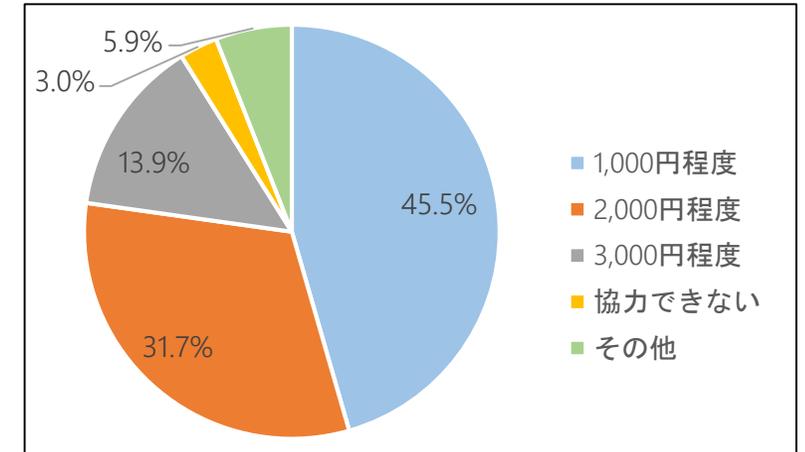
解決に向けて

活動費徴収を検討 ※令和6年度は活動費徴収なしを継続

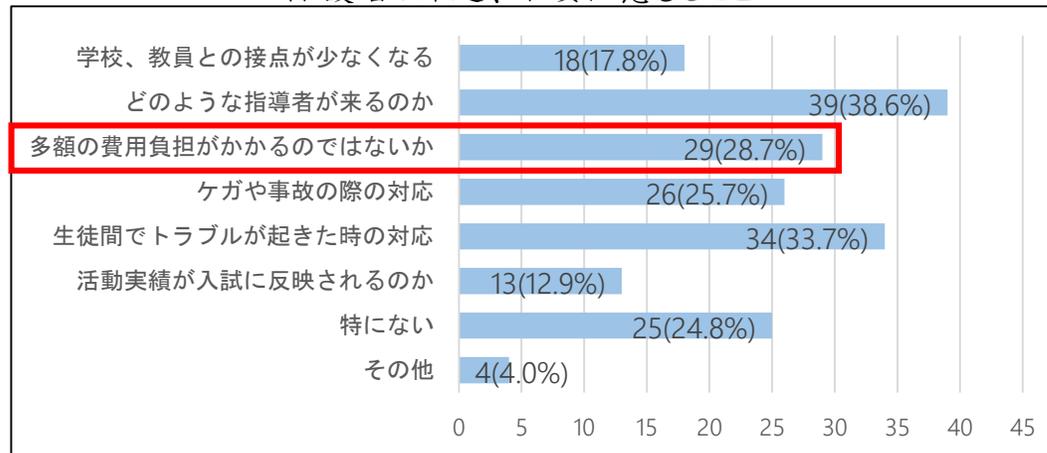
- ・必要なコスト、受益者負担と公的資金の適切なバランスの検証
- ・徴収方法の検討
- ・経済的困窮世帯への支援の検証
- ・更なるエビデンスの収集

《アンケート調査より》

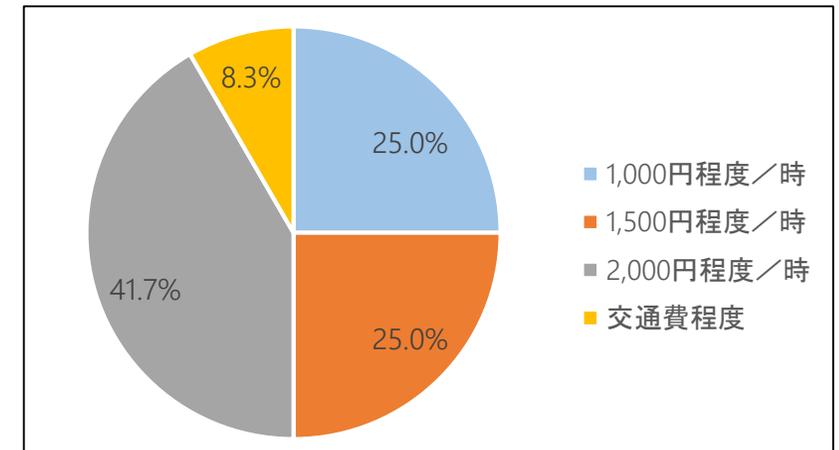
保護者：妥当だと思う金額(月額)



保護者：課題、不安に感じること



指導者：ふさわしいと思う報酬額



課題とその解決に向けて

課題② 指導者の質・量の確保、保障

解決に向けて

i 指導者バンク募集対象の拡大

- ・市民、企業等への依頼を検討

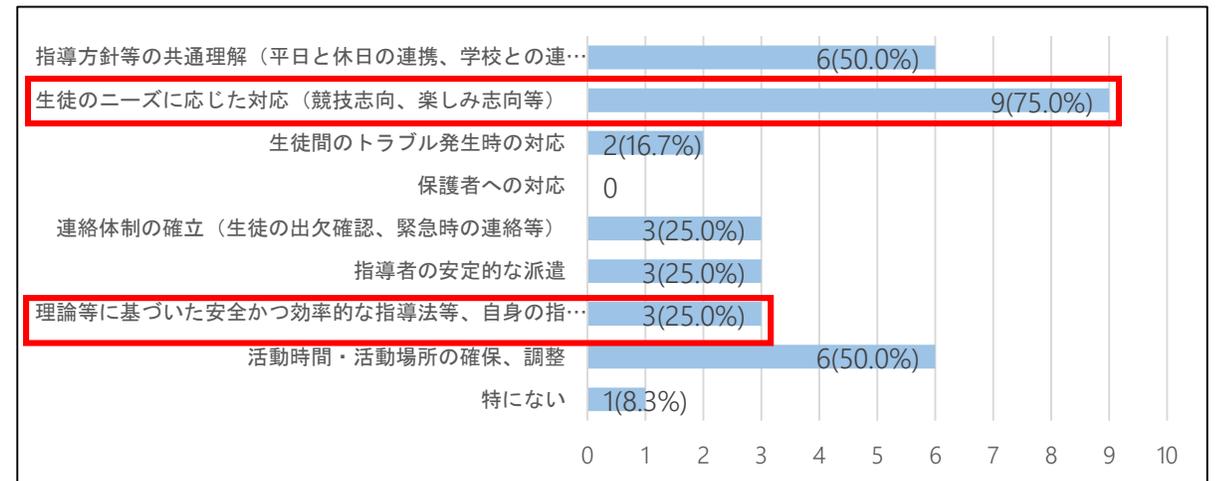
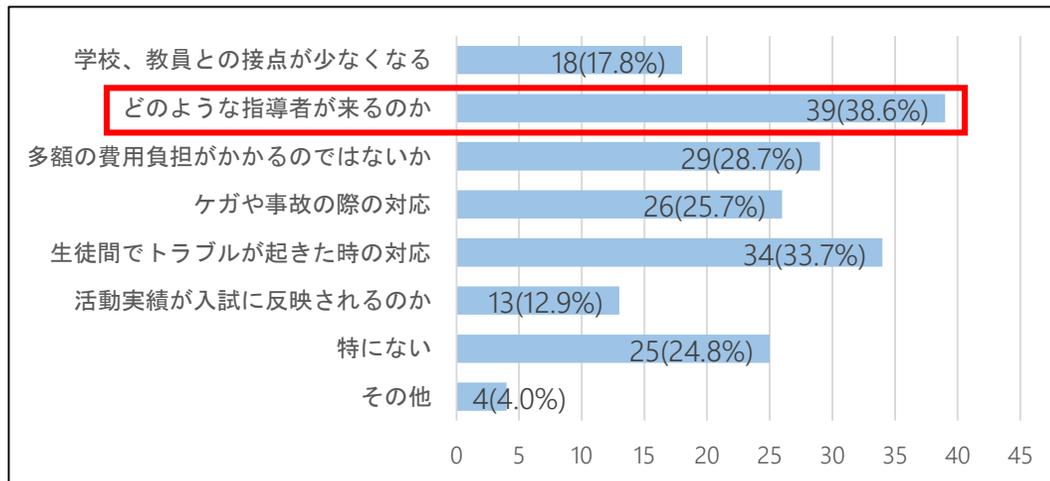
ii 指導者研修会の内容充実

- ・救命講習の必修化
- ・スポーツ理論・実技講習の定期開催
- ・コンプライアンス、インテグリティ研修の開催

⇒ 4, 5月頃開催に向けて調整中

⇒ 地元の専門学校と内容等を検討中

⇒ 内容、講師の検討中



課題③ 方針等の明確化、目的・意義の理解促進

解決に向けて

i 「部活動」の総合的な改革計画等の検討・策定

- ・学校部活動の統廃合、拠点校部活動等、少子化等に対応した学校部活動の在り方を検討(教育総務課)
- ・市生涯スポーツプラン(R8改訂)での位置付けを検討(市スポーツ振興会)

ii 「運動・スポーツ」、「部活動」の目的・意義の共通理解

アンケート調査より「部活動に最も求めることは？」

	生徒	保護者
1位	楽しく取り組める (56.5%)	子どもが楽しく取り組める (70.3%)
2位	体力・技能の向上 (40.0%)	子どもの競技レベルが上がる (22.8%)

- ① 運動・スポーツを継続的に取り組むための土台として、“楽しく”取り組める活動を目指す。
- ② 目標設定シート等を活用してニーズを把握し、活動の充実を図る。

